

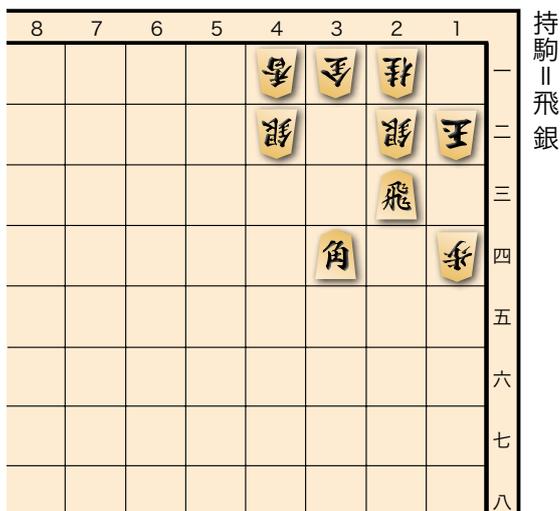
次の一手

答え合わせ

〈第11局〉

詰将棋 問題 7手詰 (10分で3級)

ヒント 持駒と盤上の飛車は捨て駒



〈監修〉中田功七段

詰将棋 答え

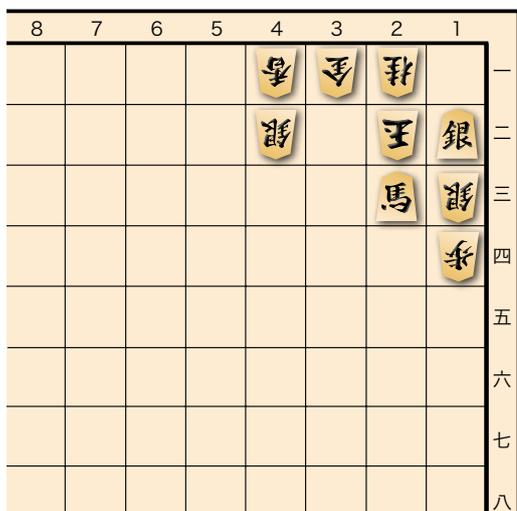
- ▲1 一飛 △同玉 ▲1 三飛成 △同銀
▲1 二銀 △2 二玉 ▲2 三角成までの7手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

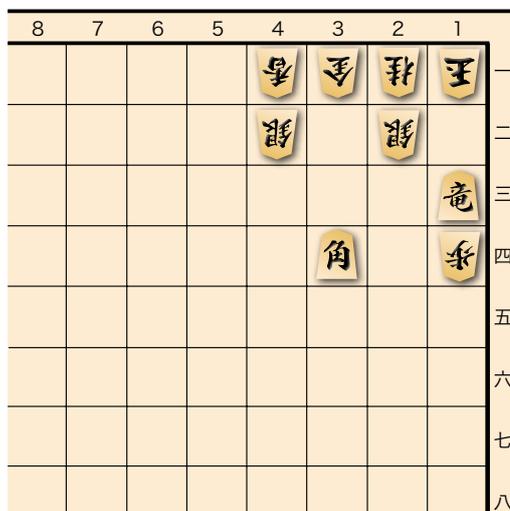
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰。弟子に佐藤天彦名人。
人生の指針となる言葉「一期一会」。



詰め上がり図



途中図 (▲1三飛成まで)

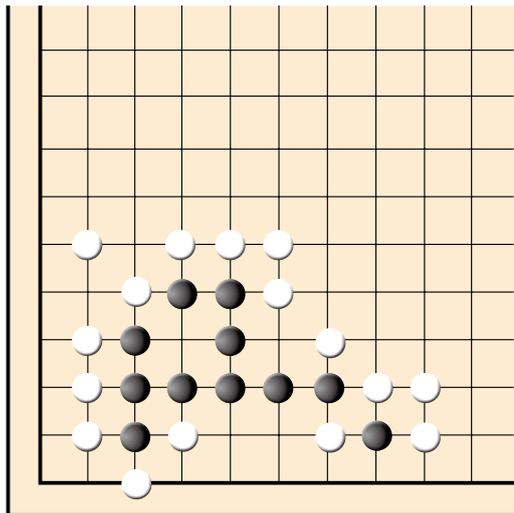


(解説) 初手▲1 一飛がハツとする捨て駒。△同玉 (△同銀ならば▲3 三飛成の一手詰) に対して▲1 三飛成と再び飛車捨て (途中図) すれば3 四角の効きが1 二まで通るので▲1 二銀と打って詰め上がる。

詰碁 問題 (10分で3段)

ヒント

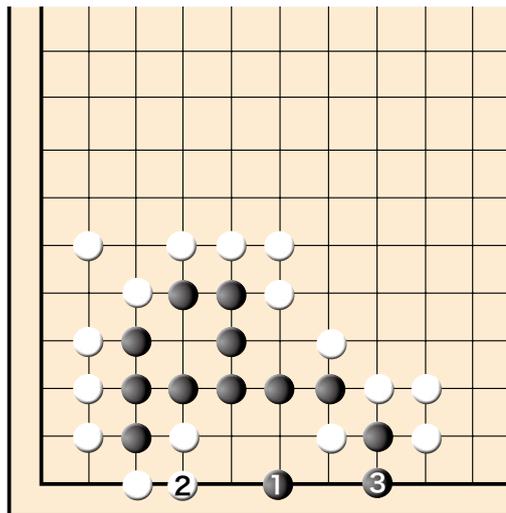
堂々二眼で活きる手を発見してください。①すぐにアタリを打たない②左右を関連させる



〈監修〉大淵盛人九段

詰碁 答え①

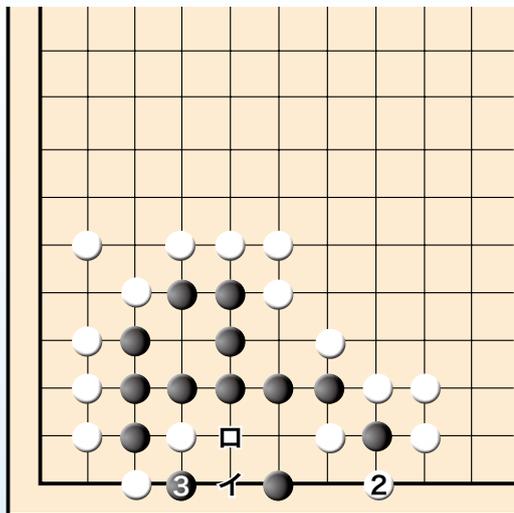
アテない効果



黒1とトンで、左右をにらむのが良い手です。白が2と左を守れば、黒3で白1子を取る手が成立し、二眼の活きです。

詰碁 答え②

アテない巧みさ



白2と右を守るなら、狙いすました黒3のホウリコミです。続いて白1に黒口でオイオトシになります。

大淵 盛人 (おおぶち・もりと)

1965年8月10日生まれ。福岡県柳川市出身。

中1で碁を覚え、1981年4月上京、大枝雄介八段(当時)に入門を許され約8年内弟子修行を経験する。83年入段、97年九段。棋士養成機関で師範を長年担当。日本棋院常務理事。門下生に内田修平七段、奥田あや三段他。

人生の指針となる言葉「サムエル・ウルマンの『青春』」。

